

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第49回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 11. 24)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第49回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 11. 24)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

ここ数年、工場見学がブームになっている。大人から子どもまで 30
気軽に楽しめることから、新たなレジャーとして定着しつつある。 60
最近では、バスツアーのプランに取り入れている旅行会社も増えて 90
おり、家族旅行として利用する人も多い。学校の社会科見学のよう 120
な堅苦しきもなく、子どもの夏休みの自由研究としても人気が高い 150
ようだ。 155

あるレトルト食品の製造工場は、1日2回の見学ツアーを行って 185
いる。案内係が参加者に同行し、製造工程を詳しく説明する。さら 215
に、作りたてのミートボールを試食することもできる。この企業の 245
狙いは、QC（品質管理）への取り組み状況を、消費者に知っても 275
らうことだという。同社では三つの工場で実施しており、昨年は約 305
1万2千人が訪れるほどの人気だった。 324

見学ツアーは、大手企業のものが注目されている。一方で、小さ 354
な町工場でもいくつかが集まって、自社の持つ技術を紹介するとい 384
う動きを見せている。今年、全国各地の中小企業160社により、 414
製品の展示やシンポジウムなどといったイベントが、東京都で開催 444
された。その企画の一つとして、子ども向けバスツアーが行われ、 474
下町で働く職人の技術が披露された。伝統的な優れた技を見ることが 504
できる、貴重な体験となったようである。 525

自由研究の場合は、下調べをしてから訪れると効果的だ。そこで 555
作られている製品の長所や種類などを調べておくと、当日の説明が 585
分かりやすい。また、理解できた内容をきちんと記録しておけば、 615
レポートの作成に役立つだろう。企業側は、見学者の増加で社員の 645
意欲が向上し、企業全体の活性化になるという。工場見学を通し、 675
企業の公開が進むことで、消費者との距離がさらに近くなることを 705
期待する。 710